



AKURATE

アキュレイト

製品コンセプト

- KOMRI での経験を効果的に生かした、もっと一般的な（価格面で）リファレンススピーカー
- KOMRI の成果に新たなインプットが加わることで、さらなる魅力を持つスピーカーとすること
- ステレオスピーカーとして優れていることはもちろん、完璧なサラウンドサウンドを実現するスピーカーシリーズであること。例えば、フロント リア、あるいはレフト センター ライトとボーカルがパンしてもクオリティー、そして音質がまったく変わらないスピーカーであること。
- マルチウェイ（5way/4way）の特徴を最大限生かし広帯域であり且つ密度が高く、全域に渡ってきわめてシユアで混濁の少ない、ソースの感動をアキュレイトに再現するスピーカーとすること。
- ホームユースとして理想的なサイズ。（こんなスピーカーが欲しかった！！！！）



3K DRIVER ARRAY・・・AKURATE のコアであるスーパーツイーター、ツイーター、ミッドレンジを集中配置したスプーン状の 3WAY ユニット。

- 3K DRIVER ARRAY の特徴に、水平・垂直方向のきわめて広い指向性があげられます。このことは、3K DRIVER ARRAY のカラーレーションの少なさと OPEN なサウンド、明確なステレオイメージに貢献しています。シリーズ全てにおいて 3K DRIVER ARRAY を採用していることで、サラウンド時には 360 度シームレスな音場が簡単に再現可能です。
- ポリマードームユニットは、周波数によらず常に広指向性をねらい新開発され、3K DRIVER ARRAY 部は約 300Hz から 28kHz まで同一の指向性を誇っています。
- ハイパワー・ネオジウムマグネットにより、各ユニットのマグネットアセンブリーはボイスコイル内部に納まり、3 つのドライブユニットは究極の近接配置が可能になっています。
- 伝統的なスピーカーは、ツイーターがスピーカーバツフル面に取り付けら





れ、ユニットから放たれた音はバッフル面を走り、バッフルコーナーで放射され、その結果カラーレーションを生みステレオイメージの安定性を崩します。3K DRIVER ARRAY のツイーター/スーパーツイーターマウント部は、高強度かつ極小の面積とすることで、優れた音像のフォーカスと明瞭度を実現しています。

- ツイーター/スーパーツイーター部うしろのボウルには、2つのねらいがあります。1) ツイーター/スーパーツイーター部の面積を極小化すること。2) 3K DRIVER ARRAY エッジ部での音を分散させ、スピーカーの音場を広くオープンなものとする。つまりサウンドに air を与えることです。
- ミッドレンジは、420~3.7kHz を受け持ち、主たるボイスレンジを1つのユニットでカバーしています。ミッド/ツイーターのクロスポイントは3.7kHz、ツイーター/スーパーツイーターのクロスポイントは10kHzとしています。

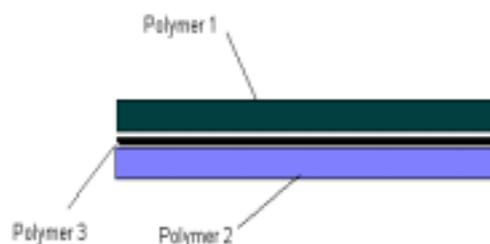
キャビネット

- 徹底的に平行面をさけたキャビネット内部構造。角度をつけた仕切り面と、複雑に入り組んだ補強構造で、外観からは意識させない高い強度を持ちます。各帯域ドライブユニット用にはもちろん、ネットワーク用のチェンバーも独立しています。
- AKURATE 242 と AKURATE 212 のバスレフポートは、キャビネット内外のエアインピーダンスをマッチさせるため、内側と外側双方向にフレアードして(広がって)います。これによりピークなく全域に even なレスポンスが可能になっています。
- 内側と外側のポートの形状は変えてあり、また LOWER BASS のポートは UPPER BASS より高くチューニングされているため、バスレフくささの原因でもあるバスブーストを起こさず、床からの低音の影響も非常に少なくなっています。



BASS UNIT

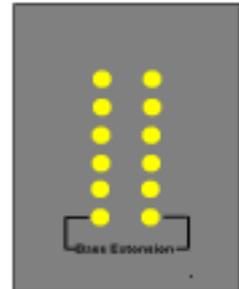
- AKURATE の BASS UNIT は、異なった3つの層から構成されています。両外側の層は非常に固くそして軽量のポリマーを密度を変えて採用しています。中間層は、フレキシブル(柔らかく)で重量のあるポリマーを採用しています。このサンドイッチ構造により、AKURATE の BASS UNIT はとても軽量かつ高強度でしかも優れた内部損失を持つ、例外的に過渡特性の良い





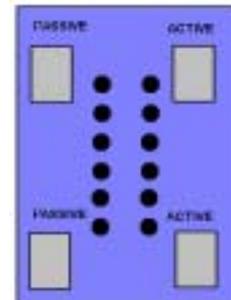
(EXCEPTIONAL TRANSIENT RESPONCE) 理想的なドライブユニットとなっているのです。

- AKURATE 242 と 225 (センタースピーカー) は、より幅広い使用環境でベストなパフォーマンスを引き出すため、広い部屋あるいは高い低音吸収構造を持つ部屋のため、少量のバスブースト機能を備えています。この機能は、30 ~ 250Hz の範囲で 2dB アップさせることができます。AKURATE 242 そして 225 に同時にこの機能を働かせることで、フロント 3 チャンネルのバランスを崩す心配もありません。



AKTIV SYSTEM

- LINN AKTIV MODULE は、全ての LINN パワーアンプに有効で、AKTIV システムはパッシブ時と極めて等しいサウンドキャラクターでありながら、圧倒的に優れたアキュラシーとコントロールを実現します。
- AKURATE の DRIVE UNIT はどれもドライブしやすく、小さな出力のアンプでも十分にドライブすることができます。最も効果的な AKTIV システムは、片 ch の AKURATE 242 に対し LINN 5125 5 チャンネルパワーアンプを 1 台ずつ使いアクティブドライブすることです。また、2250 等の上級ステレオアンプに AKTIV MODULE を搭載すればさらに良いことは言うまでもありません。



センターSP

- AKURATE 225 は密閉型を採用していますが、それには 2 つの理由があります。1) センタースピーカーは、部屋の端に設置されることが一般的で (床の近く・TV の下・天井の近く・壁の近く) バスレフポートを持つスピーカーの性能を妨げることがよくあります。そのため密閉型の方が不明瞭にならず、あらゆる環境でお使いいただけることとなるのです。2) 2 つ目には、LINN は密閉型スピーカーとバスレフ方スピーカーをいっしょに使えるように作ることが可能であるからです。通常のバスレフスピーカーにある様なブーミーさのない AKURATE 242 そして 212 スピーカーは、密閉型スピーカーとも完璧なマッチングを誇っているのです。

